

議員特別研修実施報告書

報告議員名	佐藤 忠久	報告日	令和7年9月19日
調査研究・研修等 名 称	第20回全国市議会議長会研究フォーラムin札幌		
実 施 日	令和7年8月26日～28日		
会 場	札幌文化芸術劇場 hitaru		
調査研究・研修等の 概 要	【1日目 8月27日（水）】 13：00～16：50 ■開会式 開会あいさつ 丸子 善弘 全国市議会議長会会長 ■基調講演 「主権を預かる誇りと責任」 伊吹 文明（元衆議院議長） ■パネルディスカッション 「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」 コーディネーター：辻 陽 （近畿大学法学部教授） パネリスト：榎原 出（東京大学教授） 白石 洋一（読売新聞東京本社政治部次長） 山下 節子（山口県宇部市議会議長） 長内 直也（札幌市議会議長） パート1 地方議員のなり手不足問題 パート2 なり手不足問題に関する3つの論点 ・議員の多様性や住民代表制の確保：若者や女性、会社員などが立候補しやすい環境の整備 ・議員報酬・議員報酬のあり方 ・令和5年地方自治法改正（地方議会の役割及び議員の職務等の明確化） パート3 なり手不足問題の解決に向けた提言 【2日目 8月28日（木）】 9：00～11：00 ■課題討議 「議員のなり手不足問題の取組報告」 コーディネーター： 牧瀬 稔（関東学院大学法学部教授） 事例報告者： 今井 康善（岡谷市議会議長） 平神 順子（さつま市議会議員） 中野 進（白山市議会議長） 論点 ①地方議会議員のなり手不足問題への具体的な取組内容 ②地方議会議員のなり手不足問題への取組の成果と課題 ③地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けた地方議会への提言 【なり手不足問題の解決に向けた地方議会への提言】 ・学校との連携による主権者教育 ・市民説明会で報酬・定数の議論を ・エビデンス（根拠・裏付け）に基づく議会からの政策提言 閉会		

調査研究・研修等の 成果と感想	「なり手不足問題対策としての主権者教育」を発表した札幌市議会の取組は、小中学生に「市議会を夏休みの自由研究」の対象としてもらうことを提案し、教育委員会に周知を依頼、また、小中学生向けにチラシの作成や議会広報誌に特集ページを掲載して議場見学を進めている報告があった。我が横手市議会が実施しているY8サミットはハイレベルな取組だと再認識できた。 宇部市議会議長の発表は、職業議員として見合った報酬額を定めることで処遇改善する等、なり手不足対策として提案されたが違和感がある意見でした。
----------------------------	--

※調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。